

教育環境の後退STOP

行徳高校定時制の存続を！

浦安市は市川市と共に、行徳高校の定時制振興会へ行徳高校の教育の充実・発展を図るという目的で補助金を支出しています。内訳は体育会への参加や負担金、部活動に伴う消耗品や物品の購入などです。

2011年の震災以降、浦安市からの補助金が20%カットされ、25万円から20万円へと減額されました。震災前の補助金額に戻る団体もある中、減額されたままの金額で推移していました。日本共産党は常任委員会にて増額を求めていましたが、2016年度に

補助金の減額

行徳高校定時制 浦安在住生徒数	
2017年度	14名
2016年度	17名
2015年度	16名

行徳高校の定時制は、県立国府台高等学校葛南分校を前身として1978年4月に開校しました。各学年が一クラスずつで「学び直しの学校」として授業は基礎・基本の定着を図るなど、きめ細かな指導が行われています。

浦安市内には定時制高校はありません。行徳定時制には、今年2月現在49名在籍しています。浦安からは14名通学していることが常任委員会にて日本共産党の質疑で明らかになりました。

3月議会の教育民生常任委員会審議にて、日本共産党は行徳高等学校定時制の存続を浦安市から千葉県に求めるよう質しました。

浦安市内に 定時制高校無し

市は生徒数の減少や支出の内容を踏まえて市川市と協議したとして、更に2万円減額しています。(左表参照)

千葉県が行徳定時制 募集を停止する計画

今年3月に策定された千葉県の県立学校改革推進プラン第4次実施プログラムに、行徳と船橋の定時制を統合し、船橋の校舎を使用する計画が打ち出されています。行徳定時制の募集は停止し、2022年度から統合を実施するとしています。

行徳定時制は浦安市内から1~4kmです。船橋高校の所在地は東船橋ですから、浦安駅・新浦安駅から12~13kmあり、徒歩や自転車での通学は困難となります。

存続を求める卒業生などの声に応え、日本共産党は、2018年度予算審議にて、行徳定時制の存続を市は千葉県に求めるべきと質しましたが、市は県へ存続を求める考えはないなどと答えています。

週刊 日本共産党 市議会報告

2018年4月23日

第1455号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎&FAX
047-350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎ 047-355-8526
minamotonton@jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203
☎ 047-354-9269
m5mise@jcom.home.ne.jp